

地方独立行政法人山口県立病院機構評価委員会（第21回）の概要

1 開催日時

平成29年7月24日（月）14：00から15：25まで

2 開催場所

山口県庁本館棟4階 共用第3会議室

3 出席者

評価委員会委員：5人

事務局：6人

法人：10人

4 内容

(1) 県健康福祉部長挨拶

(2) 議事

① 委員長選出等

② 平成28年度における法人の業務の実績に関する評価について

③ 平成28年度における法人の財務諸表等について

- ・ 事務局から資料1～資料3について、法人から資料4～資料6について説明。

主な質疑応答・意見

〔●委員 □法人〕

● 法人化後今回初めてのA評価となっているが、前回と比べ大きく変わったところはどこか。

□ 前回の平成27年度評価では、退職給付費用の一括計上のため、経常収支比率が目標の100%を下回り、財務内容の改善に関する事項の評価がcとなったが、今回は100%を上回り、その評価がaとなった。このため、全体評価がA評価になったものと考えている。

● 病棟再編を行い、このうちの臓器・疾患別のセンター化により専門性が高められたと思うが、逆に総合診療的な部署の教育はどうなっているか。

□ 機構では自治医科大卒などの研修医を積極的に受入れており、救命救急センターにおいて急患対応やへき地診療において総合診療的な対応を行っている。今後も総合医の育成のため必要な対応を行っていくこととしている。

- 就労環境の箇所、食堂の再開という記載があったが、職員の福利厚生のみならず、患者などの来院者のためにも必要なことであるが、どのように考えているか。
- 総合医療センター内の食堂は、平成27年度に委託先の都合により休業となったため、平成28年度に募集を行い再開したものである。職員に限らず一般の方も利用可能であり、今後とも病院の利便性を高めるよう努力していきたい。

- 看護職員の負担軽減のため、入退院支援センターによる入院時業務の軽減や業務のIT化に取り組まれているとの説明があったが、これらを外部発信し、採用に結びつけるようにされてはどうか。
- 看護部のホームページの刷新を行い、アクセス数では県内1位となっている。県立大からの採用も増加しているが、看護師はまだ不足している。今後もホームページのデータ更新を適切に行い、採用に結びつけていきたい。

- ・ 今回の審議事項2件については継続審議とし、評価委員会の評価結果（案）及び財務諸表等の承認に当たっての意見（案）については、次回委員会において決定することとなった。

④ その他

地方独立行政法人法の改正について事務局から報告があった。

次回の評価委員会は、8月10日（木）の午前10時から開催する。